

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和6年7月1日～令和6年7月30日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
1	JIS	制定		土工機械－機能安全－第2部：制御システムの安全関連部のハードウェアの設計及び評価並びにアーキテクチャ要求事項	Earth-moving machinery – Functional safety – Part 2: Design and evaluation of hardware and architecture requirements for safety-related parts of the control system	この規格は、JIS A 8308で定義されている土工機械及びその作業機に使用される全てのエネルギー源（例えば、電子的、電氣的、油圧、機械的）により駆動されるコンポーネントを使用する安全制御システムの開発及び達成機械パフォーマンスレベル（MPLa）の評価のための一般原則を規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・記号及び略語 ・一般要求事項 ・システム設計 ・システム安全性性能評価 ・使用及び保守のための情報 ・附属書（規定）他の機能安全規格との両立性 ・附属書（規定）JIS B 9705-1及びJIS B 9705-2への例外、除外及び追加		ISO 19014-2:2022, Earth-moving machinery – Functional safety – Part 2: Design and evaluation of hardware and architecture requirements for safety-related parts of the control system(IDT)	一般社団法人日本建設機械施工協会 一般財団法人日本規格協会
2	JIS	制定		電車線路設備耐震設計	Seismic design of overhead contact line equipment	この規格は、電車線路設備を構成する電車線柱を対象として耐震設計の一般原則について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・記号及び略語 ・耐震設計の基本方針 ・安全性の評価 ・電車線柱の加速度応答スペクトル図を用いて耐力によって照査を行う場合の耐震設計 ・附属書（規定）簡易な手法によって算定するL2地震動 ・附属書（規定）高架橋・橋りょうにおける加速度応答スペクトル ・附属書（規定）盛土・切土・素地における加速度応答スペクトル			一般社団法人日本鉄道電気技術協会 一般財団法人日本規格協会
3	JIS	制定		ウェットワイパー類の除菌試験方法・除菌効果	Performance and test method of disinfecting wet wipes	この規格は、ウェットワイパー類の除菌試験方法・除菌効果について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・試験に用いる細菌 ・器具及び装置 ・仕様器具の滅菌 ・試薬及び培地 ・細菌の保存と継代培養 ・試験準備 ・試験手順 ・不活性剤の有効性の確認 ・試験結果 ・除菌効果 ・試験報告書 ・附属書（規定）混釈平板培養法による残存菌数の測定			一般社団法人日本衛生材料工業連合会 一般財団法人日本規格協会
4	JIS	改正	A0203	コンクリート用語	Concrete terminology	この規格は、コンクリートに関して用いられる主な用語及び定義について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 1) 現在の技術動向、用語の使い方を踏まえ、用語の定義（セメントペースト、気泡コンクリート、エントラップエア、単位量等）を見直す。 2) 前回の改正以降制定されたJISに対応した用語及び定義の追加。 - JIS A 1159(コンクリートのJリングフロー試験方法) 箇条3 c)コンクリート及び材料の性質 - JIS A 1160(増粘剤含有高性能AE減水剤を使用した高流動コンクリートのワーカビリティの評価基準) - JIS A 6209(コンクリート用火山ガラス微粉末) 箇条3 b) 材料 - JIS A 5011-5(コンクリート用スラグ骨材-第5部:石炭ガス化スラグ骨材) 箇条3 b) 材料ほか			公益社団法人日本コンクリート工学会 一般財団法人日本規格協会
5	JIS	改正	A6518	ネットフェンス構成部材	Components for wire net fences	この規格は、主として敷地の区画に用いるネットフェンスの構成部材について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 1. 近年、屋外用鋼製フェンスに一般的に使用されている塗料がポリエステル樹脂系の粉体塗料が主流であり、その塗膜の硬度はF以上が一般的であるため、塗料選定の汎用性を高めるため、塗膜試験の性能を「H以上」から「F以上」に改正する【表2】。 2. 現在、材料として規定されている溶融亜鉛めっきよりも耐食性に優れており建材の多くの分野で普及しているJISG3323(溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金メッキ鋼板及び鋼帯)を追加する【箇条6】。 3. 表面処理について引用規格であるJIS H8641(溶融亜鉛めっき)が2021年に対応国際規格との整合化のため、品質を付着量から膜厚に改正する等が行われたため、その内容と整合するため、次の改正を行う【箇条8】。 ① 防せい下地処理の種類及び記号を「1種AのHDZA」から「HDZT35」にする。 ② 塗装を行わなくてもよい条件を、柱及び胴縁の場合、片面に350g/m ² から片面に49μmとし、その種類及び記号を「HDZ35以上」から「HDZT49」以上にする。また、上記を除く附属金属物の溶融亜鉛めっきの場合、種類及び記号を「1種A(HDZA)」から「HDZT35」にする。 ③ 亜鉛の付着量の測定5.2(間接法)から「膜厚の試験は、8.2電磁式膜厚計」の趣旨にする。			一般社団法人日本エクステリア工業会 一般財団法人日本規格協会
6	JIS	改正	A8508-6	道路工事機械－安全－第6部：アスファルトフィニッシャの要求事項（追補1）	Mobile road construction machinery – Safety – Part 6: Requirements for asphalt pavers (Amendment 1)	この規格は、車輪(ホイール)式及び履帯(クローラ)式のアスファルトフィニッシャの安全要求事項について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・運転席の安全要求事項・安全方策において、キャブの装着を要求しない旨の規定に改める。			一般社団法人日本建設機械施工協会 一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和6年7月1日～令和6年7月30日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
7	JIS	改正	A8508-7	道路工事機械—安全—第7部: アスファルトディストリビュータ及びアスファルトスプレーヤの要求事項(追補1)	Mobile road construction machinery -- Safety -- Part 7: Requirements for asphalt distributor and asphalt sprayer (Amendment 1)	この規格は、れき(瀝)青材料を散布する車輪(ホイール)式のアスファルトディストリビュータ及び被けん引式又はトラック積載式のアスファルトスプレーヤの安全要求事項について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・機械の防護のためのアスファルトディストリビュータの加熱装置において、この規定を、実態に即した規定とするため、“液面レベルの低下時による空だきを防止するため、タンク外部からタンク内液量が確認できる液量計を備え、最低加熱必要量の表示を行わなければならない。”旨の規定に改める。			一般社団法人日本建設機械施工協会	一般財団法人日本規格協会
8	JIS	改正	B8664	油圧—減圧弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁—取付面	Hydraulic fluid power—Pressure-reducing valves, sequence valves, unloading valves, throttle valves and check valves—Mounting surfaces	この規格は、互換性を確保するために、油圧の減圧弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁の取付面及び取付寸法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・公差において、対応国際規格及び関連する他のJISとの整合性を確保するため、表面粗さ及び平面度の引用規格を、JIS B2401-2(オリング-第2部: ハウジングの形状・寸法)に変更する。 ・寸法において、取付面の図と寸法が一体化されていたものを、対応国際規格の改定に整合させるため、図と表(寸法値)に分離する。 ・ポート記号において、メインポート最大径に応じて適用される減圧弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁の図記号を、引用規格JIS B0125-1:2020(油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第1部: 図記号)の修正に合わせ、対応国際規格に整合させる。		ISO 5781:2016, Hydraulic fluid power—Pressure-reducing valves, sequence valves, unloading valves, throttle valves and check valves—Mounting surfaces(MOD)	一般社団法人日本フルードパワー工業会	一般財団法人日本規格協会
9	JIS	改正	B8803	ベルトコンベヤ用ローラ	Rollers for belt conveyor	この規格は、主としてばら物(鉱石、土砂、石炭、セメント、穀類など)を運搬するために用いる、定置形ゴムベルトコンベヤのキャリヤ側及びリターン側に使用するローラ(以下、ベルトコンベヤ用ローラという。)及びローラ台の種類及び寸法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 1. 国内市場での実態に対応するため、ベルト幅450mm, 600mm, 750mm, 900mmおよび1050mmに対応するJ形ローラ及びローラ台の寸法規定を追加する。 2. 国内で流通が増えているみかげ棒鋼用一般鋼材をJ形ローラに使用する材料に追加する。		ISO 1537:1975, Continuous mechanical handling equipment for loose bulk materials -- Troughed belt conveyors (other than portable conveyors) -- Idlers(MOD)	一般社団法人日本産業機械工業会	一般財団法人日本規格協会
10	JIS	改正	B8941	立体自動倉庫システム—用語	Glossary of terms for automated storage and retrieval system	この規格は、スタッククレーン、出入庫ステーション及びブロックで構成する立体自動倉庫システムに関する用語及び定義について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 1. “フォークストローク出現”の定義を“フォーク装置の通常動作における最大フォークストローク状態時の停止位置”に変更する。 2. 新しい用語として“立体自動倉庫”、“立体自動倉庫システム”などを追加する。 3. 計算直差寸法”、“原材料立体自動倉庫”などの用語の定義は削除する。			一般社団法人日本産業機械工業会	一般財団法人日本規格協会
11	JIS	改正	C8462-22	家庭用及びこれに類する用途の固定電気設備の電気アセサリ用のボックス及びエングロージャ—第22部: 接続ボックス及びエングロージャに対する個別要求事項	Boxes and enclosures for electrical accessories for household and similar fixed electrical installations—Part 22: Particular requirements for connecting boxes and enclosures	この規格は、ジャンクション及びバッチャップの接続ボックスに適用する。	主な改正点は、次のとおり。 ・JIS C 8461-1の改正版(2021年)を反映するため、適用範囲、引用規格、試験に関する一般事項、感電保護、接地の準備、構造、劣化防止、個体の侵入及び水の有害な浸入からの保護、絶縁抵抗及び耐電圧、機械的強度、耐熱性、異常温度及び炎に対する絶縁材の耐性、耐トラッキング性、耐食性及び領事両立性について、改正版の年度及び該当箇条に改める。 ・寸法において、規定しないことが明確となる記載に改める。 ・“劣化防止、個体の侵入及び水の有害な浸入からの保護”の箇条名をJIS C 8462-1:2021で変更された“耐劣化性及びに固形物の侵入及び水の有害な浸入からの保護”に変更する。 ・従来から国内で使用している、標準定格接続容量を追加する。		IEC 60670-22:2003, Boxes and enclosures for electrical accessories for household and similar fixed electrical installations—Part 22: Particular requirements for connecting boxes and enclosures + Amendment 1:2015(MOD)	一般社団法人電気設備学会	一般財団法人日本規格協会
12	JIS	改正	K7193	プラスチック—高温空気炉を用いる着火温度の求め方	Plastics—Determination of ignition temperature using hot-air furnace	この規格は、高温空気炉を用いるプラスチックの引火温度及び自然発火温度の求め方について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・装置(箇条5)において、従来の試験炉(5.1)に加えて、より正確なプラスチックの着火温度を求めるため、ISO 1182不燃性試験が規定する試験炉を選択肢として加える。 ・ISO 291との整合性をはかるため、試験片の状態調節(7.5)を、ISO 291が規定する温湿度に合致させる。 ・試験手順(箇条)を、従来の試験炉及び新規追加の試験炉の双方に対応するように改正する。		ISO 871:2022, Plastics -- Determination of ignition temperature using hot-air furnace(IDT)	日本プラスチック工業連盟	一般財団法人日本規格協会
13	JIS	改正	T6111	歯科用銀ろう	Dental silver alloy brazing materials	この規格は、金属製の歯科用修復物のろう付に使用する歯科用銀ろうについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・適用範囲において、銀ろうがISO 9333の適用範囲から除外されたため、対応国際規格を削除する。 ・“化学成分”に、含有量が0.1%を超える成分の記載又は表示及びニッケルの含有量が0.1%を超える場合には、記載値を超えてはならない旨の規定を追加する。 ・“有害元素”について、細分箇条を追加し、有害元素としてニッケルを追加するとともに、カドミウム、ベリリウム又は鉛の含有量が0.02%以下でなければならない旨の規定を追加する。 ・“ろう付強さ(剝離強さ)”において、2種類の金属材料をろう付した場合の規定を追加する。 ・試験に使用する銀ろうのサンプリングについての規定を追加する。			日本歯科材料工業協同組合	一般財団法人日本規格協会
14	JIS	改正	T6117	歯科用金ろう	Dental gold alloy brazing materials	この規格は、金属製の歯科用修復物のろう付に使用する歯科用金ろうについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・“化学成分”に、含有量が0.1%を超える成分の記載又は表示及びニッケルの含有量が0.1%を超える場合には、記載値を超えてはならない旨の規定を追加する。 ・“有害元素”について、細分箇条を追加し、有害元素としてニッケルを追加するとともに、カドミウム、ベリリウム又は鉛の含有量が0.02%以下でなければならない旨の規定を追加する。 ・“ろう付強さ(剝離強さ)”において、2種類の金属材料をろう付した場合の規定を追加する。 ・“耐食性”に、溶出金属イオン量が7日(168時間)±1時間で200 µg/cm2を超えてはならない旨の規定を追加する。 ・試験に使用する金ろうのサンプリングについての規定を追加する。		ISO 9333:2022, Dentistry—Brazing materials(MOD)	日本歯科材料工業協同組合	一般財団法人日本規格協会
15	JIS	改正	T6119	歯科用ろう材の試験方法	Dental brazing material—Test method	この規格は、金属製の歯科用修復物のろう付に使用する歯科用ろう材の試験方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・“試験の種類”に、ろう材を構成する各元素の含有量に関する“定量試験”を追加するとともに、その試験方法を追加する。 ・“試験片の準備”に関する箇条を追加し、鑄造法、その他の方法による試験片の準備、及び熱処理に関する規定を追加する。 ・“ろう付強さ(剝離強さ)試験”において、試験結果の評価基準(合否判定基準)の規定を追加する。 ・“腐食試験”に成分分析及び腐食試験の試験報告書に関する規定を追加する。 ・“液相点試験及び固相点試験”の測定精度を、1200℃以下の場合には±10℃及び1200℃を超える場合は±25℃とする規定を追加する。		ISO 9333:2022, Dentistry—Brazing materials(MOD)	日本歯科材料工業協同組合	一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和6年7月1日～令和6年7月30日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
16	JIS	改正	T6542	歯面漂白材	Materials for external tooth bleaching	この規格は、化学的手段によって天然歯の色を明るくし又は白い色調に変化させる歯面漂白材に対する要求事項及び試験方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・用語及び定義において、“溶解”を追加する。 ・溶解性において、評価方法が、陽性対照溶液による歯面溶解深さとの比較から、標準液による歯面の溶解性との比較に変更されたことに伴い、要求事項を“標準液による歯面の溶解性より小さくしなければならない。”に変更する。 ・漂白性において、シェードガイドを用いる視覚による評価に、新たに“ビタブリーチシェードガイド3D-Master”を追加する。また、電子的色調測定装置を用いた歯色測定による評価における漂白効果をもつための基準を、“試験後のL*が増大し、試験後のb*が減少してはいなければならない”に変更する。		ISO 28399:2021, Dentistry – External tooth bleaching products(MOD)	日本歯科材料工業協同組合 一般財団法人日本規格協会
17	JIS	改正	T8134	自転車用ヘルメット	Protective helmets for bicycle users	この規格は、自転車、自転車用幼児座席、走行道具及び特定小型原動機付自転車に乗るときに着用するヘルメットについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・適用範囲において、従来の自転車用のみに加え、特定小型原動機付自転車を追加し最近の需要に対応する。 ・性能において、衝撃吸収性試験の半球アンピルを欧米規格でも採用されているカーブストーンアンピルに変更することで、欧米規格との整合性とともに、自転車乗車中の転倒時の実路面にあった試験方法に変更し、安全性の向上を図る。 ・構造において、自転車転倒時に安全な構造を明確に定義するとともに帽子タイプのヘルメット及び折り畳みヘルメット等のカテゴリも可能として、ユーザーの要望に沿った製品になるようにする。			公益社団法人日本保安用品協会 一般財団法人日本規格協会
18	JIS	改正	Z3137	スポット及びプロジェクション溶接継手の十字引張試験に対する試験片寸法及び試験方法 (現行名称:抵抗スポット及びプロジェクション溶接継手の十字引張試験に対する試験片寸法及び試験方法)	Specimen dimensions and procedure for cross tension testing of spot and projection welded joints	この規格は、金属のスポット及びプロジェクション溶接継手について、板厚が0.5 mm～5 mmで、最大7√t(t:板厚)のナゲット径をもつ試験片の形状・寸法及び十字引張試験方法を規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・規格の名称及び適用範囲において、JIS Z 3001-6(溶接用語－第6部:抵抗溶接)の用語に合わせて、“抵抗スポット”から“スポット”に変更する。 ・適用範囲において、関連国際規格に関する注記を追加する。 ・用語及び定義において、抵抗溶接用語規格で規定されている用語は削除し、対応国際規格と整合させて、“十字引張力”を“十字引張強さ”と変更する。また、試験後の破断形式及び溶接線の求め方の説明図を削除する。 ・試験片において、ボルトで試験片を試験ジグに取り付ける方式の試験片ジグとしては、現行規格で規定していたもの又は対応国際規格で規定されたものいずれかを利用者が選択できるようにする。また、対応国際規格で規定された油圧クランプ式の試験ジグを追加する。 ・試験方法において、油圧クランプ式試験ジグを用いる場合を追加する。また、対応国際規格と整合させるために、試験時の荷重-変位曲線図の例を追加するとともに、十字引張強さ(CTS)の測定位置をこの図中に示す。 ・記録において、記録する項目の記載順序を対応国際規格と合わせる。 ・附属書Aとして、新たに追加した油圧クランプ式ジグの具体的な構造例を追加する。		ISO 14272:2016, Resistance welding – Destructive testing of welds – Specimen dimensions and procedure for cross tension testing of resistance spot and embossed projection welds(MOD)	一般社団法人日本溶接協会 一般財団法人日本規格協会
19	JIS	改正	Z8890	粉体の粒子特性評価－用語	Particle characterization of particulate systems – Vocabulary	この規格は、粉体粒子の特性評価に関する主な用語及び定義について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・用語及び定義: 対応国際規格であるISO 26824の2022年の改訂において加筆又は修正された用語及び定義を、当該JIS Z8890に適切に反映させる(約270語→380語)。		ISO 26824: 2022, Particle characterization of particulate systems – Vocabulary(MOD)	一般社団法人日本粉体工業技術協会 一般財団法人日本規格協会
20	JIS	改正	Z8910	集じん用ろ布の試験方法―ろ布耐久性測定用のサンプリング方法及び試験方法	Sampling and test method for cleanable filter media taken from filters of systems in operation	この規格は、稼働中のバグフィルタ集じん装置から、不織布製ろ布及び織布製ろ布の劣化・損傷状況を評価するために、ろ布をサンプリングする方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・近年の技術進歩に合わせ、新たに制定された国際規格に適合した国内規格とする。 ・作業者、試験者の健康被害の防止を図る。 ・ろ布種によるサンプリング、試験方法の相違を整理する。 ・試験項目の取捨選択する。		ISO 22031:2021, Sampling and test method for cleanable filter media taken from filters of systems in operation(IDT)	一般社団法人日本粉体工業技術協会 一般財団法人日本規格協会